

1、GooglePlay・AppStoreから無料アプリ「junaio」をダウンロード 

2、必ずこのQRコードをスキャン 

3、この下の写真にスマートフォンをかざす



晴れ着で大人の仲間入り

1 / 12

平成26年登別市成人祭

1月12日(日)、市民会館で『平成26年登別市成人祭』(市、同実行委員会主催)が開催されました。

雪が交じるあいにくの天候となりましたが、色あでやかな振袖やスーツなどを身にまとった新成人338人(男性159人、女性179人)が会場を訪れました。

式典では新成人代表の高橋拓也さんと上田詠美さんが『社会人としての責任を持たなければならず身が引き締まる思いです』との二十歳の誓いの言葉を述べました。

式典後には新成人の中学校の恩師からのビデオレターが放映されたほか和太鼓やダンスなどのアトラクション、市内企業などの協賛による抽選会が行われ、会場を沸かせました。

参加した新成人は、同級生と成人を祝い合うとともに大人としての決意を新たにしていました。



冬休みの自由研究ができました

1 / 9-10

冬休み工作教室

1月9日(木)・10日(金)、郷土資料館で『冬休み工作教室』(市主催)が開かれました。

この催しは、子どもたちに、ものづくりの体験や完成した喜びを知ってもらおうと、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』の協力により毎年この時期に行われているもので、小学生やその保護者など、2日間で約40人が参加しました。

1月10日(金)は『写真立て作り』が行われ、参加者は、木の実や貝殻などで板に思い思いの飾りを付けながら写真立てを製作し、その出来栄に満足そうな表情を浮かべていました。



▲激しい攻防を繰り広げる子どもたち

第31回登子連かるた大会
1月19日(日)、市民会館で『第31回登子連かるた大会』（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が開催され、小学生3チーム、中学生1チームが日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。
この大会は、百人一首を通して子どもたちに仲間意識を高めてもらうこと、北海道独特の『下の句かるた』の継承と普及を目的として、毎年行われています。
この大会で優勝したチームは、『胆振地域子どもかるた大会』に出場します。

耳をすませて

1 / 19

幻想的な装飾で
観光客をおもてなし
泉源公園イルミネーション

12/1~
3/31

登別温泉町の泉源公園は、平成25年12月1日から9千500個のLEDを使ったイルミネーションで彩られています。
イルミネーションは登別観光協会が毎年実施しており、今回からは平成25年8月に同公園に設置された『湯鬼神金棒』にも装飾が施されました。3時間周期で温泉が吹き出る間欠泉の煙と青白く輝く金棒が相まって、幻想的な雰囲気となっています。
金棒と光の共演は3月31日(月)まで、日没から23時まで楽しむことができます。



▲湯煙とイルミネーションが温泉街を彩る

虐待防止への
意識新たに

子ども虐待防止セミナー

12月21日(土)、市民会館で『子ども虐待防止セミナー』（市、登別市要保護児童対策地域協議会主催）が開かれ、町内会や教職員、保育士、民生委員・児童委員、人権擁護委員、市職員など約150人が参加し、子どもの虐待防止に理解を深めました。

初めに、講師を務める北星学園大学社会福祉学部福祉臨床学科教授の栗山隆（たけやま）さんが、平成24年10月に市内で発生した中学生の虐待死事件に触れながら、「子どもの虐待は複雑化かつ多様化し、一度起こると深刻化していく。多くの人が関わり、知恵を出し合って互いに協力することが、結果として虐待防止につながる」などと講演。参加者は、講演後のグループ演習や意見交換を通して、痛ましい事件を繰り返さないため、一人一人が虐待防止に対して主体的に関わりをもつ意識を高めました。



▲グループ演習の様子

12 / 21